

ポイントスタディ方式による  
第二種電気工事士学科試験受験テキスト 改訂 18 版 3 刷 正誤表

2025 年 11 月 21 日改訂 18 版第 3 刷発行

コード：21495

作成日：2026 年 4 月 17 日

箇 所	誤	正
87 ページ [練習問題] 問い 1 問題文を右の文章に変更	住宅の屋内に三相 200V のルームエアコンを施設した。工事方法として、適切なものは。 ただし、三相電源の対地電圧は 200V で、ルームエアコン及び配線は簡易接触防護措置を施すものとする。	
87 ページ [練習問題] 問い 1 選択肢を右の文章に変更	イ. 定格消費電力が 1.5kW のルームエアコンに供給する回路に、専用の配線用遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。 ロ. 定格消費電力が 1.5kW のルームエアコンに供給する回路に、専用の漏電遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。 ハ. 定格消費電力が 2.5kW のルームエアコンに供給する回路に、専用の配線用遮断器と漏電遮断器を取り付け、ケーブル工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。 ニ. 定格消費電力が 2.5kW のルームエアコンに供給する回路に、専用の配線用遮断器を取り付け、金属管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。	
181 ページ 右段 24 行目 問い 1 解答と解き方 右のように変更	<b>【問い 1】 答 (ハ)</b> <b>【解き方】</b> 定格消費電力が 2 [kW] 以上の電気機械器具とこれに電気を供給する配線に簡易接触防護措置を施し、配線と電気機械器具は直接接続し、電気機械器具に電気を供給する回路に専用の漏電遮断器と過電流遮断器を取り付ける場合は、対地電圧を 300 [V] 以下とすることができる。コンセントを使用して接続している (イ)、(ニ) は不適切。(ロ) は定格消費電力が 2 [kW] 未満で不適切。したがって、(ハ) が適切である。	

ポイントスタディ方式による  
第二種電気工事士学科試験受験テキスト 改訂 18 版 2 刷 正誤表

2025 年 1 月 31 日改訂第 18 版第 2 刷発行

コード：21495

更新日：2025 年 9 月 9 日

箇 所	誤	正
30 ページ スタディポイント 単相 2 線式配電線の 電圧降下① 1～3 行目 右の文章に変更	(1) 長さ $L$ [m] の電線の抵抗 $R$ [ $\Omega$ ] について、抵抗率が $\rho$ [ $\Omega \cdot \text{mm}^2/\text{m}$ ] で与えられている場合の電線太さ $A$ [ $\text{mm}^2$ ] は、電圧降下 $e$ [V] が、	
80 ページ スタディポイント 合成樹脂管工事 下から 7 行目	②交流耐地電圧 150V 以下…	②交流対地電圧 150V 以下…
87 ページ [練習問題] 問い 1 問題文を右の文章に変更	住宅の屋内に三相 200 V のルームエアコンを施設した。工事方法として、適切なものは。 ただし、三相電源の対地電圧は 200 V で、ルームエアコン及び配線は簡易接触防護措置を施すものとする。	
87 ページ [練習問題] 問い 1 選択肢を右の文章に変更	<p>イ. 定格消費電力が 1.5 kW のルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。</p> <p>ロ. 定格消費電力が 1.5 kW のルームエアコンに供給する電路に、専用の漏電遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。</p> <p>ハ. 定格消費電力が 2.5 kW のルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器と漏電遮断器を取り付け、ケーブル工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。</p> <p>ニ. 定格消費電力が 2.5 kW のルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器を取り付け、金属管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。</p>	
97 ページ [練習問題] 問い 5, 問い 6 を削除	96 ページの「スタディポイント 分路器」の内容と関連性のない問題のため、削除いたします。	
106 ページ スタディポイント 電気工作物とは 右図に変更		
107 ページ [練習問題] 問い 2 設問を右の文章に変更	小規模発電設備のうち、一般用電気工作物に含まれないものは、	

次ページに続く

箇所	誤	正															
107 ページ [練習問題] 問い2 選択肢を右の文章に変更	イ. 太陽電池発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ロ. 風力発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ハ. 内燃力を原動力とする火力発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ニ. 水力発電設備であって、最大使用水量が毎秒 1 [m <sup>3</sup> ] 未満のもの（ダムを伴うものを除く）の出力 20 [kW] 未満のもの																
181 ページ 右段 24 行目 問い1 解答と解き方 右のように変更	【問い 1】 答 (ハ) 【解き方】 定格消費電力が 2 [kW] 以上の電気機械器具とこれに電気を供給する配線に簡易接触防護措置を施し、配線と電気機械器具は直接接続し、電気機械器具に電気を供給する回路に専用の漏電遮断器と過電流遮断器を取り付ける場合は、対地電圧を 300 [V] 以下とすることができる。コンセントを使用して接続している (イ), (ニ) は不適切。 (ロ) は定格消費電力が 2 [kW] 未満で不適切。したがって、(ハ) が適切である。																
184 ページ 問い5, 問い6の解答・解説を削除	97 ページの問い 5 と問 6 の削除に伴い、問い 5 と問い 6 の解答・解説も削除いたします。																
186 ページ 3. 電気事業法 問い2の解答・解説を 右の内容に変更	【問い 2】 答 (ロ) 【解き方】 小規模発電設備で、一般用電気工作物に含まれないものは、出力 10 [kW] 以上 50 [kW] 未満の太陽電池発電設備と出力 20 [kW] 未満の風力発電設備である。 小規模発電設備	<table border="1" data-bbox="667 871 1214 1200"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>出力</th> <th>電気工作物の区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>風力発電設備</td> <td>20 [kW] 未満</td> <td rowspan="2">小規模事業用 電気工作物</td> </tr> <tr> <td>太陽電池発電設備</td> <td>10 [kW] 以上 50 [kW] 未満</td> </tr> <tr> <td>水力発電設備*</td> <td>20 [kW] 未満</td> <td rowspan="3">一般用 電気工作物</td> </tr> <tr> <td>内燃力発電設備</td> <td>10 [kW] 未満</td> </tr> <tr> <td>燃料電池発電設備</td> <td>10 [kW] 未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>※最大使用水量 1 [m<sup>3</sup>/s] 未満 (ダムを伴うものを除く)</p>	設備名	出力	電気工作物の区分	風力発電設備	20 [kW] 未満	小規模事業用 電気工作物	太陽電池発電設備	10 [kW] 以上 50 [kW] 未満	水力発電設備*	20 [kW] 未満	一般用 電気工作物	内燃力発電設備	10 [kW] 未満	燃料電池発電設備	10 [kW] 未満
設備名	出力	電気工作物の区分															
風力発電設備	20 [kW] 未満	小規模事業用 電気工作物															
太陽電池発電設備	10 [kW] 以上 50 [kW] 未満																
水力発電設備*	20 [kW] 未満	一般用 電気工作物															
内燃力発電設備	10 [kW] 未満																
燃料電池発電設備	10 [kW] 未満																

ポイントスタディ方式による  
第二種電気工事士学科試験受験テキスト 改訂 18 版 1 刷  
正誤表

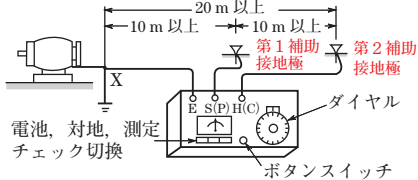
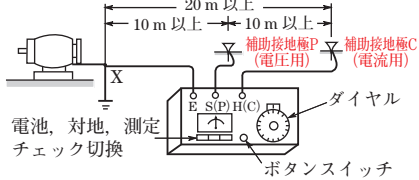


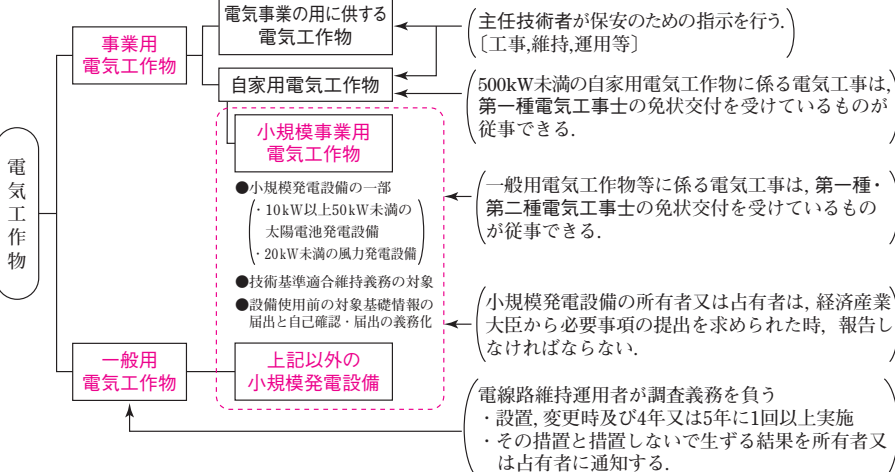
2023 年 12 月 11 日改訂第 18 版第 1 刷発行

コード：21495

更新日：2025 年 6 月 2 日

箇 所	誤	正
鑑別 21 ページ 上から 2 段目 名称と図記号の欄	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (2 心)	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (2 心)
鑑別 21 ページ 上から 3 段目 名称と図記号の欄	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (3 心)	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (3 心)
鑑別 21 ページ 上から 4 段目 名称と図記号の欄	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (3 心)	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 平形 (3 心)
鑑別 21 ページ 上から 5 段目 名称と図記号の欄	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 丸形 (2 心)	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 丸形 (2 心)
鑑別 22 ページ 上から 1 段目 名称と図記号の欄	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 丸形 (3 心)	600V ビニル絶縁 ビニルシースケーブル 丸形 (3 心)
30 ページ スタディポイント 単相 2 線式配電線の 電圧降下① 1 行目～3 行目 右の文章に変更	(1) 長さ $L$ [m] の電線の抵抗 $R$ [ $\Omega$ ] について、抵抗率が $\rho$ [ $\Omega \cdot \text{mm}^2/\text{m}$ ] で与えられている場合の電線太さ $A$ [ $\text{mm}^2$ ] は、電圧降下 $e$ [V] が、	
80 ページ スタディポイント 合成樹脂管工事 下から 7 行目	②交流耐地電圧 150V 以下…	②交流対地電圧 150V 以下…
87 ページ [練習問題] 問い 1 問題文を右の文章に変更	住宅の屋内に三相 200V のルームエアコンを施設した。工事方法として、適切なものは。 ただし、三相電源の対地電圧は 200V で、ルームエアコン及び配線は簡易接触防護措置を施すものとする。	

次ページに続く

箇所	誤	正
87 ページ [練習問題] 問い1 選択肢を右の文章に変更	イ. 定格消費電力が1.5kWのルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。 ロ. 定格消費電力が1.5kWのルームエアコンに供給する電路に、専用の漏電遮断器を取り付け、合成樹脂管工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。 ハ. 定格消費電力が2.5kWのルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器と漏電遮断器を取り付け、ケーブル工事で配線し、ルームエアコンと直接接続した。 ニ. 定格消費電力が2.5kWのルームエアコンに供給する電路に、専用の配線用遮断器を取り付け、金属管工事で配線し、コンセントを使用してルームエアコンと接続した。	
92 ページ スタディポイント 接地抵抗の測定 上から4行目	補助接地極を P、C に接続する。	補助接地極 P と C はそれぞれ S (P)、H (C) に接続する。
92 ページ スタディポイント 接地抵抗の測定 上から5行目	接地極板と、補助接地極板は…	接地極と、補助接地極は…
92 ページ スタディポイント 接地抵抗の測定 図中の表記		
97 ページ [練習問題] 問い5, 問い6を削除	96 ページの「スタディポイント 分流器」の内容と関連性のない問題のため、削除いたします。	
158 ページ 左上段 漏電遮断器の写真		
106 ページ スタディポイント 電気工作物とは 右図に変更		
107 ページ [練習問題] 問い2 設問を右の文章に変更	小規模発電設備のうち、一般用電気工作物に含まれないものは、	

箇所	誤	正																		
107 ページ [練習問題] 問い 2 選択肢を右の文章に変更	イ. 太陽電池発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ロ. 風力発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ハ. 内燃力を原動力とする火力発電設備であって、出力 10 [kW] 未満のもの ニ. 水力発電設備であって、最大使用水量が毎秒 1 [m <sup>3</sup> ] 未満のもの（ダムを伴うものを除く）の出力 20 [kW] 未満のもの																			
181 ページ 右段 24 行目 問い 1 解答と解き方 右のように変更	<b>【問い 1】 答 (ハ)</b> <b>【解き方】</b> 定格消費電力が 2 [kW] 以上の電気機械器具とこれに電気を供給する配線に簡易接触防護措置を施し、配線と電気機械器具は直接接続し、電気機械器具に電気を供給する電路に専用の漏電遮断器と過電流遮断器を取り付ける場合は、対地電圧を 300 [V] 以下とすることができる。コンセントを使用して接続している (イ)、(ニ) は不適切。(ロ) は定格消費電力が 2 [kW] 未満で不適切。したがって、(ハ) が適切である。																			
184 ページ 問い 5, 問い 6 の解答・解説を削除	97 ページの問い 5 と問 6 の削除に伴い、問い 5 と問い 6 の解答・解説も削除いたします。																			
186 ページ 3. 電気事業法 問い 2 の解答・解説を 右の内容に変更	<b>【問い 2】 答 (ロ)</b> <b>【解き方】</b> 小規模発電設備で、一般用電気工作物に含まれないものは、出力 10 [kW] 以上 50 [kW] 未満の太陽電池発電設備と出力 20 [kW] 未満の風力発電設備である。 小規模発電設備 <table border="1" data-bbox="667 936 1214 1265"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>出力</th> <th>電気工作物の区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>風力発電設備</td> <td>20 [kW] 未満</td> <td rowspan="2">小規模事業用 電気工作物</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">太陽電池発電設備</td> <td>10 [kW] 以上 50 [kW] 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 [kW] 未満</td> <td rowspan="3">一般用 電気工作物</td> </tr> <tr> <td>水力発電設備*</td> <td>20 [kW] 未満</td> </tr> <tr> <td>内燃力発電設備</td> <td>10 [kW] 未満</td> </tr> <tr> <td>燃料電池発電設備</td> <td>10 [kW] 未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※最大使用水量 1 [m <sup>3</sup> /s] 未満 (ダムを伴うものを除く)	設備名	出力	電気工作物の区分	風力発電設備	20 [kW] 未満	小規模事業用 電気工作物	太陽電池発電設備	10 [kW] 以上 50 [kW] 未満		10 [kW] 未満	一般用 電気工作物	水力発電設備*	20 [kW] 未満	内燃力発電設備	10 [kW] 未満	燃料電池発電設備	10 [kW] 未満		
設備名	出力	電気工作物の区分																		
風力発電設備	20 [kW] 未満	小規模事業用 電気工作物																		
太陽電池発電設備	10 [kW] 以上 50 [kW] 未満																			
		10 [kW] 未満	一般用 電気工作物																	
水力発電設備*	20 [kW] 未満																			
内燃力発電設備	10 [kW] 未満																			
燃料電池発電設備	10 [kW] 未満																			